

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

北島中学校
「学力向上実行プラン」

- わかりやすい発問により、生徒の思考を深める授業の実践
- 認め合い、話し合い、学び合う授業の実践

学力向上推進員 阿部佐知子 村岡紀子 齋藤裕恵	委員 校長：吉成 文教
	教頭：松本 広子 佐坂 千絵
	教務主任：近藤 勝重
	学年主任：三橋 延世 北原篤こ 小川 清晴

校長
吉成 文教

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能がしっかり身に付いている生徒が多く、課題にも意欲的に取り組んでいる。 ●学習した知識や技能を、他の教科等の学習で活用したり関連づけたりすることに課題がある。	・基礎的・基本的な事項について繰り返し粘り強く学習し、知識・技能を確実に身に付け、定着させることができる。 ・学習を通して習得した知識や技能を、他の学習や生活の場面において活用することができる。	・授業始めに前時の振り返りやめあてを確認し、授業終わりに学習内容の振り返りの時間をもつ。 ・生徒が興味をもって学習に取り組むことができるよう発問を工夫する。 ・単元の終了後に基礎的・基本的な内容の小テストを実施するなど、知識・技能を確実に習得させる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習を通して習得した知識や技能を活用して、課題を解決しようとする意欲のある生徒が多い。 ●根拠や理由を考えて判断したり、自分の考えや思いを表現したりすることに課題がある。	・自分の考えや思いを目的や条件に応じてわかりやすく相手に伝えることができる。 ・課題解決のために、資料や情報を効果的に活用したり、根拠や理由を明確に表現したりすることができる。	・学習活動の中で、ペアやグループでの活動を活用し、教え合ったり自分の考えや思いを表現したりする場面を設定する。 ・自分の考えや思いを相手にわかりやすく伝えるための表現方法を提示し、タブレットを効果的に活用した発表や話し合い活動を設ける。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習のめあてを理解し、目標をもって学習し、積極的に自らの考えを述べる生徒が多い。 ●家庭学習の習慣が十分に定着していない生徒もいる。不得意な教科や苦手な問題に粘り強く取り組む態度の育成が課題である。	・目標をもち、それを実現するために主体的に学習に取り組むことができる。 ・自分なりの学習方法を習得し、家庭学習に見通しをもって意欲的に取り組むことができる。	・授業を静かに開始し、落ち着いて学習に取り組むことができるよう、チャイム前着席を徹底させる。 ・スムーズに授業に取りかかれるよう、「忘れ物をしない、させない、許さない」意識をもたせる。 ・生徒自らが作成した学習計画をもとに、自主学習に地道に取り組むことを習慣づけさせる。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

